



2007年10月22日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL: www.t-s-r.co.jp

所在地:東京都千代田区岩本町 2-1-3 和光ビル

代表取締役社長: 藤田 正雄

『組込みプロジェクター市場は 2011 年に立ち上がる可能性あり』

～市場立ち上げには複数の課題をクリアする必要がある～

株式会社 テクノ・システム・リサーチは、今後携帯電話やデジタルカメラ等各モバイル機器への搭載が期待されている組込みプロジェクターの市場が確立される可能性について最新の調査結果を発表しました。

TSRでは組込みプロジェクター市場の確立は早くても 2011 年であるとの調査結果となりました。モバイル機器にプロジェクター機能が組み込まれた場合、従来の画面サイズよりも大きくすることが可能になり、各モバイル機器の使い方も広がると予想されます。しかし、組込みプロジェクター市場は以下の条件をクリアしてはじめて市場が確立されるとの見方をしております。

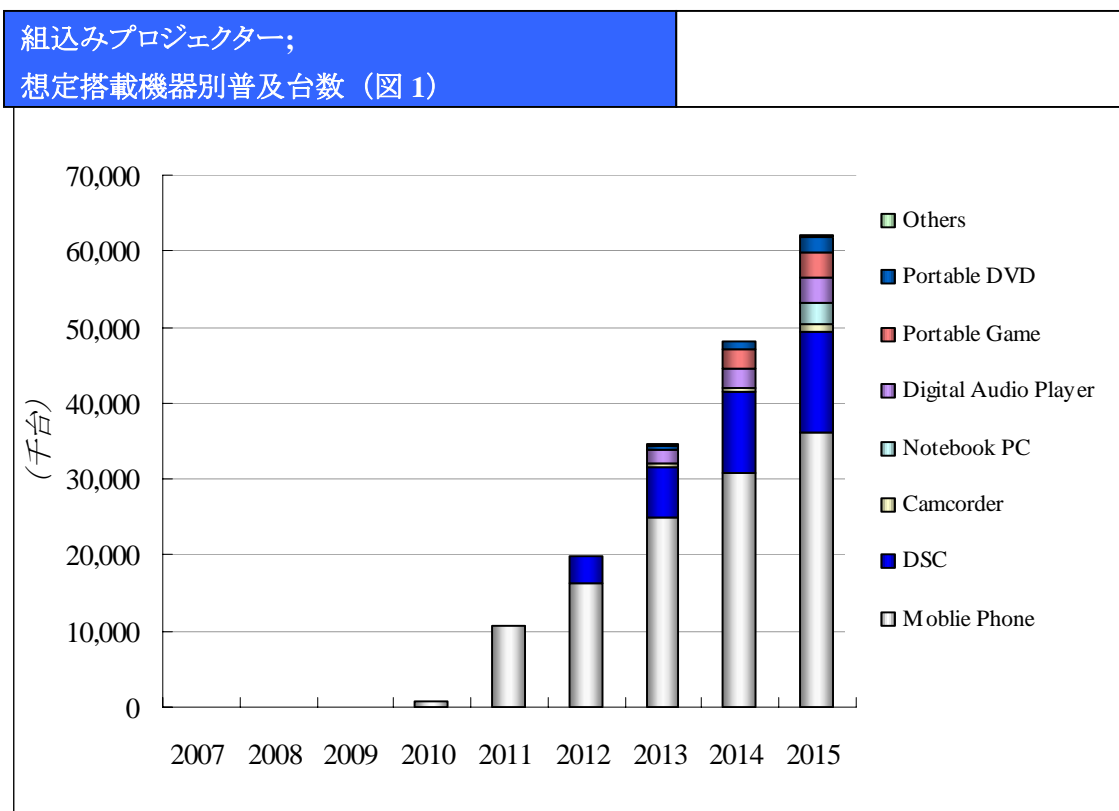
[組込みプロジェクターが普及するための条件(課題)]

1. 光源に用いるレーザーが高価格
2. プロジェクターユニットサイズの小型化
3. 高消費電力
4. 発熱
5. 安全基準による出力制限
6. その他(コンテンツの創出、輝度不足等)

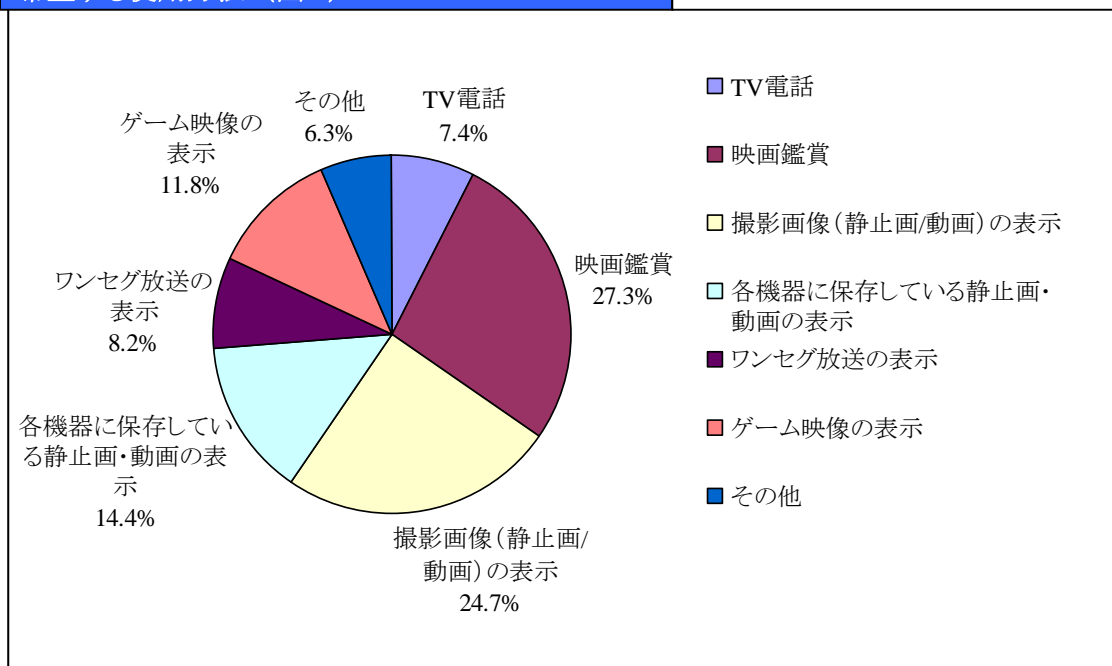
[想定搭載機器別:組込みプロジェクター;普及台数]

全世界で約 10 億台と言われており、組込みプロジェクターの搭載が最も期待されている携帯電話は韓国や欧米諸国の一部、日本等の多機能携帯に先進的な地域から限定的に普及していくものと分析しています。その結果、プロジェクター搭載携帯電話の普及台数は初年度で約 1,000 万台という予測に至りました。しかしながら、TSRでは携帯電話が保有するコンテンツ（撮影画像等の表示）が組込みプロジェクター市場を牽引していくキラーアプリケーションであるとの見方をしております。（図 1）

またTSRでは 300 人のエンドユーザーに対して組込みプロジェクターに関するアンケート調査を行いました。同調査では『映画鑑賞や撮影した画像を組込みプロジェクターで表示したい』と考えているユーザーが多いという結果となりました。（図 2）



組込みプロジェクター；ユーザー調査
希望する使用方法（図2）



[プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

第2 グループ

担当:木村 隼一

e-Mail: kimura@t-s-r.co.jp

電話:03(3866)4505